

基盤的研究成果発表会(3月4日) 発表予定課題(14 課題)**(1)平成 21 年度基盤的研究採択課題**

- ・哺乳類を用いた毒性実験の結果に影響を及ぼす実験動物の遺伝的要因解析
- ・胎児期におけるエストロゲンシグナルの gain of function とその性分化の可塑性
- ・胎仔期、新生仔期の代謝機能と内分泌かく乱作用発現
- ・核内ホルモン受容体による転写調節における環境化学物質の作用機構
- ・野生生物のリスク評価を目指した核内受容体リガンドの網羅的解析法の開発
- ・メダカの生殖内分泌系に及ぼす化学物質の内分泌かく乱作用の作用メカニズムに関する研究

(2)平成 20 年度フィージビリティースタディー採択課題

- ・化学物質誘発性のエピジェネティック修飾による DOHaD モデルの検証
- ・メダカの再生産に及ぼす化学物質及びその代謝物の影響とトキシコゲノミクスによる作用機序の解明
- ・海産無脊椎動物ホヤのトキシコジェノミクス基盤研究と生態調査
- ・多環芳香族炭化水素類の内分泌かく乱作用の構造活性相関に基づく魚鱗の化学物質スクリーニング法に関する研究

(3)平成 21 年度フィージビリティースタディー採択課題

- ・構造活性相関に基づくステロイド膜受容体作用物質群の同定
- ・無脊椎動物(アミ類)における生殖・発生異常とその発生メカニズム

(4)その他の関連研究課題

- ・ミジンコにおける内分泌かく乱作用メカニズムの解析
- ・魚類エストロゲン受容体を用いた種特異性・リガンド特異性の in vitro スクリーニング系開発

野生生物の生物学的知見研究成果発表会（3月9日） 発表予定課題（7課題）

（1）平成 21 年度野生生物の生物学的知見研究採択課題

- ・ 野生メダカの性分化異常に関わる基礎的情報の収集と解析
- ・ アカトンボ減少傾向の把握とその原因究明
- ・ シャジクモ類の衰退要因解明に向けた環境負荷化学物質の影響に関する生理・生態学的研究

（2）平成 20 年度フィージビリティースタディー採択課題

- ・ 魚食性猛禽類「ミサゴ」の生態とその食物連鎖に関する基礎的研究

（3）平成 21 年度フィージビリティースタディー採択課題

- ・ 底生甲殻類の成長や成熟に見られる異常のスクリーニングと環境の影響評価に関する研究
- ・ 改良型ミジンコ繁殖毒性試験を用いた新たな数理生態学的解析手法の検討

（4）その他の関連研究課題

- ・ 生物蓄積性内分泌かく乱候補物質によるわが国の野生生物汚染の実態解明